

審議 1. 第 25 期委員会活動報告 (2022.10~2023.9) (案)

1. 総務委員会

委員長 中辻 剛

1. 1月20日に総務委員会を開催、当学会の財政状況と今後の対応について予算委員会と共同で検討していくこととした。
2. 各委員会での学会活性化・サービス向上策に関する検討結果を取りまとめ、総務委員会、理事会において会費の扱いも含め今後の対応について協議いただいた。
3. 秋の総会に向けて、役員改選のほか諸準備を実施した。

2. 企画委員会

委員長 秦 康範

1. 企画委員会の開催
2. 勉強会
第43回勉強会、第44回勉強会を開催した。
3. 25周年に向けた企画、会員サービスの拡充等の検討
4. 防災学術連携体
「関東大震災100年企画冊子」への寄稿依頼があり、名誉会員の吉井博明氏にお願いすることとした。
5. 災害情報システム研究会
今後の進め方について検討し、研究会を継続することを確認した。
6. シンポジウムの開催
関東大震災関連のシンポジウムを企画(12月9日開催予定)
7. 25周年に向けた企画、会員サービスの拡充等の検討

3. 予算委員会

委員長 齊藤 健一郎

1. 第25期中間決算書及び財産目録作成
2. 第25期後期決算書及び財産目録作成
3. 各委員会の活動計画を確認し、第26期予算書を作成
4. 経理処理・経理台帳を点検・精査
5. 学会財源課題について総務委員会へ上程

4. 広報委員会

委員長 福島 隆史

《前期》

1. ニュースレターの発行
各地で新たに起きる災害の災害情報に関係する課題を取りあげ、また新たな施策・技術開発等に留意しながら、引き続き時宜にかなうニュースレターの発行に努める。また、予算の範囲内で各都道府県・政令指定都市にニュースレターを送付し、学会PRに努める。
91号(2022.10)、92号(2023.01)発行済み。
2. ホームページの随時更新
事務局と広報委員の協力を得て、引き続き学会行事等をいち早く案内し、結果報告を速やかに行う等、ホームページを通じて学会活動の発信を行う。

3. 広報委員会の新たな活動について
学会の広報について、ニュースレター以外での情報発信について引き続き検討する。
 4. ニュースレター100号の準備
2025年1月にニュースレター100号を発行予定。具体的な内容について検討を開始した。
- 《後期》
1. ニュースレターの発行
各地で新たに起きる災害の災害情報に関係する課題を取りあげ、また新たな施策・技術開発等に留意しながら、引き続き時宜にかなうニュースレターの発行に努める。また、予算の範囲内で各都道府県・政令指定都市にニュースレターを送付し、学会PRに努める。
*93号(2023.04)、94号(2023.08)発行済み。95号(2023.10)発行予定。
 2. ホームページの随時更新
事務局と広報委員の協力を得て、引き続き学会行事等をいち早く案内し、結果報告を速やかに行う等、ホームページを通じて学会活動の発信を行う。
 3. 広報委員会の新たな活動について
学会の広報について、ニュースレター以外での情報発信について引き続き検討する。
 4. ニュースレター100号の準備
2025年1月のニュースレター100号発行に向けて、作業チームを立ち上げる予定。

5. 学会誌編集委員会

委員長 金井 昌信

《前期》

1. 「災害情報 No. 21-1 (電子版)」編集作業
 - ・2022年6月末投稿締切(10編投稿)、8編掲載
 - ・2023年3月、学会ホームページにて公開
2. 「災害情報 No. 21-2 (電子版)」編集作業
 - ・2022年12月15日投稿締切(14編投稿)、9編掲載
 - ・2023年10月、学会ホームページにて公開予定

《後期》

1. 「災害情報 No. 21-2 (電子版)、No. 21 (冊子)」編集作業
 - ・2023年9月中に印刷版発行
2. 「災害情報 No. 22-1 (電子版)」編集作業
 - ・2023年6月末投稿締切

6. 廣井賞等表彰審査委員会

委員長 小室 広佐子

1. 2022年度廣井賞表彰・受賞記念講演会
 - ・2022年10月 2022年度秋学会大会にて、学会として表彰式、受賞記念講演会を開催した。
2. 「サービス向上と経費削減」について検討
 - ・2023年3月 意見をとりまとめて総務委員会に提出した。
3. 2023年度廣井賞の推薦公募および選考準備
 - ・～2023年3月 推薦公募要領等推薦方式の確認、推薦公募・表彰式時期について検討した。

4. 2023 年度廣井賞の公募および選考
 - ・ 2023 年 4～6 月 2023 年推薦公募（ホームページ、ニューズレター、一斉メール）
 - ・ 2023 年 6～7 月 表彰審査（表彰者の選考）
 - ・ 2023 年 8～9 月 理事会報告（廣井賞候補者を理事会に報告、承認）および推薦者、受賞者に通知
 - ・ 2023 年秋の学会大会において、学会として授賞式、受賞者による受賞記念講演会開催の準備

7. 学会大会委員会

委員長 関谷 直也

1. 学会大会の開催
 - ・ 第 25 回学会大会（2022. 10. 08～09：日本大学三軒茶屋キャンパス）実施済
 - ・ 第 26 回学会大会（2023. 3. 21：国士舘大学世田谷キャンパス開催）実施済
2. 委員会開催
 - ・ 第 4 回大会委員会（2022. 12. 7 オンライン）
 - ・ 第 5 回大会委員会（2022. 12. 15 持ち回り）
 - ・ 第 6 回大会委員会（2022. 5. 13 東京大学）
3. 春大会と秋大会の発表以外のイベントの整理、開催校の負担減、委員会間調整
 - ・ シンポジウムの開催検討（企画委員会との役割整理。秋は開催校、春は企画委員会）
 - ・ 表彰式の春大会での開催検討（表彰委員会との調整、開催校の負担減）
 - ・ 発表賞審査体制の確立（表彰委員会との調整、編集委員会への協力依頼）
 - ・ 大会広報の整理（広報委員会との調整、開催予告は広報委員会、報告は実行委員長）
 - ・ 大会用務外部化とコンベンション助成の利用検討（福島、新潟で試行）
4. 大会業務の定型化に向け、業務の整理を実施中
 - ・ 大会委員会の定例化（年 2 回開催）と実行委員会体制の区別・確立
 - ・ 開催地決定プロセスの定型化（2 年前に準備。大会委員会で決定、理事会へ報告）
 - ・ 年間スケジュール、マニュアル作成・整備